

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	1	実務経験	担当	小泉哲郎
		授業形態	講義			
		時間数	30	開講区分	前期	
学科・コース	メイクアップ科	単位	2	曜日・時間	4月～9月	
講師紹介	美容業界に従事してきた講師が、就職活動に向けコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。自身が身に付けた美容業界で必要とされるための知識・コミュニケーション力の発揮の仕方などをお伝えします。					
目的 科目概要	目的意識を高め、プロに必要なことが何か意識すること。					
到達目標	同じ目標を持った仲間との相互支援環境を作る					
評価方法	学則に定める評価とする。個人課題評価とグループ課題評価を統合し、評価する。評価記述はS(合格)、U(不合格)とする。導入教育の出席時間数が必要時間数に満たない者は、修了の認定を行わない。					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容				
教材	学生便覧・手帳・ポートフォリオ					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介	自己紹介を通して、クラスメートのことを把握する。
2	他己紹介	伝える為の情報収集力、伝える為の伝達力を身につける。
3	学生便覧確認	学園、学校の規則を把握し、今後のスケジュールを理解する。
4	授業、教材説明	授業ルールと教材の意味を理解する。
5	授業の受け方	各科目で必要な事前情報を習得する。
6	キャリアサポートアンケート	自分のキャリアを見つめなおす。
7	進路決定振り返り	入学前の自分を振り返り、今後身につけていきたい事をまとめる。
8	進路決定振り返り	入学前の自分を振り返り、今後身につけていきたい事をまとめる。
9	ITリテラシー	インターネットセキュリティを学ぶ。
10	グループワーク	同じ目的目標をもった仲間とのグループワーク。
11	グループワーク	同じ目的目標をもった仲間とのグループワーク。
12	グループワーク	同じ目的目標をもった仲間とのグループワーク。
13	グループワーク	同じ目的目標をもった仲間とのグループワーク。
14	入学式に向けて	今後の流れを確認し、初回授業を迎える準備をする。
15	まとめ	導入教育で学んだ知識をアウトプットすることが出来る。

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I Career Development I	年次	1	実務経験	担当	太田亜貴子
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・コース	メイクアップ科	単位	2	開講区分	前期	
講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティアドバイザーとして都内百貨店で10年間勤務。セクションマネージャーとして店舗運営、美容部員育成にも携わる。ベルエポックでは業界経験を活かし、トータルビューティ系の担任として学生サポート、就職指導を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになっている。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	手帳・Hand book of Life style					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	入学式振り返りとインターネットマナーについて	入学式を振り返り、東ベルに入学した目的と自分の目標を再度確認する。インターネットマナーを学び、ITリテラシーについて知る。(4月14日小テスト2点)
2	個人とクラスの目標	1年後の自分、クラスを創造し目標を決める。その目標ついてどのように取り組むかを自分たちで決める。GWの過ごし方について。(4月28日小テスト2点)
3	プレゼンテーション力を身に着ける	グループワークを通して、自分の意見を伝えること・他者の意見を吸収することを学ぶ。就職活動でも重要視されるプレゼンテーション力の基礎を学ぶ。(5月12日小テスト2点/課題2点)
4	夢を実現するための習慣を知る	【Hand book of Life style】教科書使用。夢を実現するための習慣と専門学校生活での大切な単位、成績ついて改めて学ぶ。(5月19日小テスト2点)
5	職業研究①	この学科で目指せる職種について理解する。クラス会議①(ビューティアドバイザー、エステティシャン、ネイリスト、ファッションアドバイザー)(5月26日小テスト2点)
6	職業研究②	この学科で目指せる職種についてさらに深く理解し、後期からの専攻授業を知る。(ビューティアドバイザー、エステティシャン、ネイリスト、ファッションアドバイザー)(6月2日小テスト2点)
7	中間試験	入学してからを振り返り、学べたこと・今後身につけていきたい事をまとめる。(6月9日中間試験20点)
8	就職・実習に向けて今から準備すること、重要事項を知る	就職・実習に向けて今から準備すること、重要事項をクラスで話し合う。クラス会議②(6月23日小テスト2点)
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。(6月30日小テスト2点)
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。(7月7日小テスト2点)
11	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇を使って、準備しておきたい項目を理解する。クラス会議③ 夏休みの課題について(7月14日小テスト2点)
12	プレゼンテーション力を磨く	グループワークを通して、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを学ぶ。就職活動でも重要視されるプレゼンテーション力を磨く。(8月25日小テスト2点/課題2点)
13	アンガーマネジメント	アンガーマネジメントを体験することで、自分自身をセルフコントロールできるようになる。(9月1日小テスト2点)
14	半年間の振り返り	わからない分野の洗い出しをし、必要な知識の整理をする。クラス会議④ 整理をすることで自分自身の課題を見つけ、今後の卒業までの目標を改めて考える。(9月8日小テスト2点)
15	定期試験	美容業界で自分が目指す職業人についての知識をアウトプットすることが出来る。半年間の振り返りも同時に行う。(9月15日定期試験60点)

科目名 (英)	おもてなし Omotenashi	年次	1年	実務経験	担当	石田智子
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2		曜日・時間	1組(水1限) 2組(水2限)
講師紹介	百貨店などさまざまな接客サービスの現場経験から得た豊富な実体験を交え講義を行う。個人技に近い「おもてなし」を自分自身で学び取るために、講義及びグループワークを取り入れた体験参加型の授業を行うので、積極的に毎授業参加すること。					
目的 科目概要	接客業に必要な「おもてなし」の心を育む。お客さまの快適と安心を心がけ、要求をかなえるだけでなく、常に満足を超えた感動を生みだせるおもてなしマスターとなるために、おもてなしの心・型・スキルを検定教本を通して体系的に学ぶ。					
到達目標	「おもてなしマスター」資格を取得する。おもてなしのプロとして顧客の声を聴き、観察し「相手が何を望むか」をさまざまな角度から自ら考え行動できる態度を身につける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	おもてなしマスター資格検定教本		事前事後 学習と その内容	おもてなしのプロとしてふさわしい、笑顔、挨拶、姿勢、身だしなみ、言葉づかいを常に意識すること。		
教材						
特記事項	毎授業教本及び筆記用具一式を必ず持参すること。決められた座席に着席すること、またワークの際は速やかに随時席移動すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション	講師自己紹介・科目オリエンテーション(授業ルール・評価について・資格検定についてなど)
2	おもてなしとは何か	日本におけるおもてなし実例紹介・グループワーク「おもてなしとは」
3	おもてなしの心3つと基本となる型	教本におけるおもてなしの心3つの解説・基本となる5つの型
4	型1 事前調査	事前調査の必要性・傾聴スキルについての解説とグループワーク
5	型2 時間管理	時間管理とタイムルール・グループワークでお客さまに「待たせ感」を感じさせない工夫を見出す
6	型3 環境設定	五感と季節を意識したお客さまにとっての空間準備について考える
7	中間試験	中間試験実施と終了後の解答解説から自身の課題を抽出する
8	型4 場面演出	場面演出の目的とイベント演出の解説・グループ内でプレゼンテーションスキルを実践する
9	型5 変化対応①	アサーションの4つのタイプの解説・自身のアサーションタイプをチェックリストで確認する
10	型5 変化対応②	ポジティブシンキング・ストレスマネジメントについての解説・グループワークで実践する
11	5つのどの型にも有効な共通スキル①	エゴグラム・コーチングについての解説・グループワークで実践する
12	5つのどの型にも有効な共通スキル①	なぜなぜシンキング・KJ法についての解説・検定試験に向けての準備説明
13	振り返りとまとめ	おもてなしマスター検定に向けて最終的な準備を整える
14	過去問題及び記述問題対策	過去問題に取り組み自己採点・記述問題対策の最終確認
15	定期試験(おもてなしマスター検定試験)	おもてなしマスター検定に合格する

科目名 (英)	セルフビューティー Self beauty	年次	1	実務経験	担当	福田 希央
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	1組(火1・2限)2組(火3・4限)
講師紹介	ヘアメイク事務所に所属しヘアスタイリスト、撮影現場、舞台や大手化粧品ブランドのヘアメイクアーティスト、として活躍中					
目的 科目概要	スキンケア～メイクまでの基礎的技術を習得する。自己分析をすることによりメイクの基本を学ぶ。					
到達目標	メイク技術を向上させ、自己分析をすることによりセルフメイクの基本を学ぶ。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	メイク工程やプロセスを次回授業でも復習できるように毎回ノートをとること。		
教材	学校指定のメイクアップ教材					
特記事項	授業前にメイク道具をセッティングしておくこと。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	スキンケア	スキンケアの手順、メイク前のマッサージ
2	ベースメイク	下地・ファンデーション・パウダー・コンシーラーの使い方
3	チーク・リップ	リップの塗り方、チークの入れ方
4	アイメイク	アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラの使い方
5	アイブロウ	アイブロウの描き方
6	ゴールデンプロポーション	ゴールデンプロポーションの理論を学ぶ
7	中間試験	ゴールデンバランスを意識したセルフメイク
8	ハイライト・シェーディング	顔型・パーツ配置に合わせたハイライト・シェーディング
9	パーツ分析	きつね顔・たぬき顔
10	パーソナルカラー診断	パーソナルカラー理論を学ぶ・診断を体験する
11	春・夏メイク	パーソナルカラー春・夏メイクをする
12	秋・冬メイク	パーソナルカラー秋・冬メイクをする
13	就活メイク	TPOに応じたナチュラルメイクを学ぶ
14	期末試験練習	期末試験に向けた解説・模擬試験
15	期末試験	自分のパーソナルカラーを取り入れた就活メイクをセルフで行う

科目名 (英)	ネイルケア&アート Nail Care & Art	年次	1	実務経験	担当	阿部知美
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	木下ユミメイクアップ&アトリエ所属講師					
目的 科目概要	ネイリスト技能検定3級の試験に合格するための理論と技術を習得。デモを取り入れ、基本である道具の準備、実技や接客の手順・テーブル回りのセッティングを学ぶ。ネイリスト技能検定3級に合格するためのネイルケアカラーを理解し、3級スタイルを覚え内容を把握して受講してほしい。ペイントアートをマスター出来るようケアカラーやアート総合タイムトライアルを取り入れ、検定直前には模擬試験を実施。全生徒が合格できるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ネイリスト技能検定3級の実技を学び、試験合格レベルに達するよう技術を習得。 相モデルを取り入れたトレーニングを行う。 中間試験と期末試験のタイムトライアルで時間も意識していく。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー道具、アート道具					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧に取る事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイルケアカラーを理解する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】使用教材を覚える。手順・セッティングを覚える。デモ。 【履修確認】小テスト2点(セッティング)
2	ケアの徹底トレーニング・概論(歴史、爪の構造)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアを学ぶ。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点(仕上がりに)
3	カラーリング徹底トレーニング・概論(爪の病気とトラブル)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ペーパーカラーと相モデルトレーニングでカラーリング、修正を覚える。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点(仕上がりに)+課題点2点
4	検定3級スタイルを覚える。	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ネイル検定3級内容を理解する。要項説明、実技採点基準ポイントを把握する。 【履修確認】小テスト2点(検定3級スタイル)
5	ケアカラー・概論(消毒法)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】小テスト2点(仕上がりに)
6	ケアカラー・概論(生理解剖学、皮膚科学)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】小テスト2点(仕上がりに)
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】相モデル ケアカラー(70分) 【履修確認】中間試験20点
8	ケアカラー復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでケアカラートータルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
9	ペイントアートをマスターする・概論(色彩学)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ストローク練習とチップトレーニングを実施し検定課題である「フラワー」アートをマスターする。デモ。 【履修確認】小テスト2点+課題点2点
10	ケアカラー、アート総合タイムトライアル	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでケアカラートータルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】小テスト2点
11	検定3級直前の模擬試験	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルで3級内容のタイムトライアル。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点
12	検定実技報告	【授業形態】講義・実習 【到達目標】出来たところと出来なかったところを自己採点。相モデルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】小テスト2点
13	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ケアカラー復習。相モデルで3種塗分け(マット、パール、シアー)デモ。 【履修確認】小テスト2点
14	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでコンテスト向けケアカラータイムトライアル。 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】ケアカラー(70分) 【履修確認】期末試験50点

科目名 (英)	ファッション総合 I	年次	1年	実務経験	担当	矢澤 勇
	FASHION	授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60		開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(木 3・4限)2組(木1・2限)
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドでショップ店員また2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やCMIに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	ライフスタイルにファッションは必ずしも関わっているため、ファッションを通じてクライアントとのコミュニケーションツールとしてパーソナルスタイリングや企画などにできるようにテクニックを習得するのはファッション業界だけではなく美容業界にも必要な基本知識である。					
到達目標	ファッションを通じてトレンドのコーディネートやパーソナルコーディネートまたトレンドを自ら企画そして発信していく事ができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることが <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ファッションとは	ファッションとは何かを学ぶ。
2	パーソナルスタイリング①	ベーシックアイテムを使って基本のスタイリング技術を学ぶ。
3	パーソナルスタイリング②	ベーシックアイテムを使ったスタイリングのシーズン別のスタイリング技術を学ぶ。
4	パーソナルスタイリング③	体型べつコンプレックス別のスタイリング技術を学ぶ。
5	トレンド&スタイル	トレンドとスタイルの違いを学ぶ。
6	トレンド&スタイル②	トレンドの発信元を調べるまたリサーチ能力を学ぶ。
7	テスト	今までの振り返りテスト。
8	ウォーキング&ポージング	接客や普段の動作で綺麗な所作を学ぶ。
9	ウォーキング&ポージング②	ポージングを覚えてカメラワークでポージング指示などを学ぶ。
10	セルフプロデュース	SNSでの自己発信のまたプロモーション技術を学ぶ。
11	セルフプロデュース②	SNSでの自己発信またプロモーション技術を学ぶ。
12	パーソナルスタイリング④	レディースとメンズのスタイリングテクニックの違いまたテクニックを学ぶ。
13	パーソナルスタイリング⑤	TPO別のスタイリングテクニックを学ぶ。
14	今までの振り返り	今までの復習をし、テストに向けてプランニングをする。
15	テスト	テスト

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	1	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	1組(月1・2限) 2組(月3・4限)
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がフェイシャルトリートメントを行う上で必要な知識と技術を丁寧に分かりやすく教える。トリートメントを行うことで、肌や心がどのように変化するのか体感しながら授業に参加してほしい。					
目的 科目概要	目的:ハンドマッサージとフェイシャルエステの基礎理論と基礎技術を身につける。 概要:ハンドマッサージ、クレンジング、フェイシャルマッサージ、仕上げを正確に行うための理論と実技を学ぶ					
到達目標	ハンドマッサージの心地よい刺激で、モデルのコリをほぐしリラックスさせることが出来る。 汚れを残すことなく肌に負担をかけずにクレンジングが出来る。 フェイシャルマッサージの6手技を習得し、正確にマッサージが出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書						
教材	プリント適宜配布	事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。			
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	トリートメントの概要・フェイシャル基礎知識	この授業の概要と進め方について、フェイシャルエステティックの基礎知識、クレンジングの目的と手法について、クレンジングで必要な用具・備品の説明
2	クレンジング①	ワゴン、ベットセッティングの仕方、ホットタオルの作り方、手指消毒の仕方 モデルの誘導、ターバンの巻き方、ポイントメイク落としの技術を習得する
3	ハンドマッサージ①	ハンドマッサージの目的効果、禁忌事項、注意事項を学ぶ ハンドマッサージの技術を習得する
4	クレンジング②	ベースメイククレンジング、スポンジ拭き取りの技術を習得する
5	ハンドマッサージ②	カウンセリングと接客マナーについて学ぶ ハンドマッサージの技術の向上を図る
6	クレンジング③	クレンジング～スチームタオル拭き取り技術を習得する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	フェイシャルマッサージ①	マッサージ剤の塗布～軽擦法の技術を習得する
9	座学① フェイシャルエステティックの基礎知識	マッサージの目的効果、禁忌事項、基本6手技の手法と効果、マッサージに関する骨・筋肉 肌タイプの種類と特徴を学ぶ
10	フェイシャルマッサージ②	強擦法、揉擦法の技術を習得する
11	座学② 肌トラブルの原因と対策	美しい肌と衰えた肌、シミ、ニキビの原因と対策
12	フェイシャルマッサージ③	打法、振動法、圧迫法の技術を習得する
13	座学③ 肌トラブルの原因と対策	しわとたるみ、女性ホルモンとストレスが肌に与える影響
14	フェイシャルマッサージ④	ご案内～マッサージ、拭き取り、仕上げまでの一連の流れをスムーズに行う
15	定期試験	8から14回までの授業の理解度を確認する

科目名 (英)	ヘアメイク I Hair&Make up1	年次	1	実務経験	担当	井上満智
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	1組(金1・2限) 2組(火1・2限)
講師紹介	ヘアメイク事務所に所属しTV、スチール、舞台、ブライダル等幅広い現場でヘアメイクを担当したのち、独立。現在はフリーランスのヘアメイクアップアーティストとして活動中。					
目的 科目概要	ヘアアレンジの基礎を学び、習得する。 セルフヘアアレンジを学ぶ。					
到達目標	ヘアアレンジの基礎となる技術を習得し、ヘアアレンジを楽しむ。 セルフヘアアレンジを学び、自分の髪をきれいにまとめられるようになる。 人頭に触れることに慣れる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書		事前事後 学習と その内容	面接、職場などで活かせるヘアの技術を学ぶため、自分の目指す職業と、そのイメージをしていくこと。			
教材	ヘア道具一式					
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ヘアアレンジの基礎①	道具の確認、頭部の名称・説明、用語説明、ブロッキングの説明、ピンング、黒ゴムの結び方
2	前回の復習	ブロッキング、ピンング、黒ゴムの結び方の復習、ゴム隠し
3	ヘアアレンジの基礎②	カールアイロンの使い方(内巻き、外巻き、ミックス巻き)
4	ヘアアレンジの基礎③	三つ編み、編み込み、ツイスト編み
5	基礎の復習	編み込みの復習 ここまで習ってきた技術を組み合わせてハーフアップのアレンジをする。
6	中間試験対策	中間試験対策・模擬試験
7	中間試験	巻きおろし、ハーフアップ、ポニーテール、ゴム隠し
8	セルフヘアアレンジ(巻きおろし)	自分の髪をきれいに巻けるようになる
9	セルフヘアアレンジ(ハーフアップ)	自分の髪をきれいにハーフアップにできるようになる
10	セルフヘアアレンジ(シニヨン)	自分の髪をきっちりまとめられるようになる
11	セルフヘアアレンジ復習	これまで習ったスタイルから、自分の目指す職業で活かせる髪型をイメージしてヘアアレンジをする
12	相モデルに挑戦	相モデルで巻きおろし、ハーフアップ
13	人頭に慣れる	相モデルで編み込みを使ったスタイルを作る
14	期末試験対策	期末試験対策、模擬試験、相モデル決め
15	期末試験	相モデルフリースタイル40分

科目名 (英)	メイクアップ総論 I Make up	年次	1	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	1組(月3・4限)2組(金1・2限)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではメイクアップに必要な専門的な知識と技術の基礎を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:メイクアップに関するマナー、専門知識、ナチュラルメイクの基礎的な技術を学ぶ。 科目概要:メイク基礎を学びJESCメイクアップアーティスト検定に合格できるようになる。					
到達目標	正しいメイクアップのマナーとセッティングの仕方を習得する 正しい化粧品の使用方法を理解し、限られた時間内でナチュラルメイクを仕上げることができる。 パーツごとにナチュラルメイクの正しい技術を習得することができる。 バランスの良いナチュラルメイクを仕上げることができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	Make up foundation 1	事前事後 学習と その内容	メイクアップは細かいプロセスが多いので、毎回必ずノートを取って欲しいです。			
教材	学校指定のメイクアップ教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題の提出をしていただきます。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	マナー・セッティング・スキンケア	正しいセッティングの仕方を習得する メイクアップの様々なマナーを理解する スキンケアの手順を理解する
2	前回の復習/ベースメイク	セッティング～マナーの確認、スキンケア復習。正しいセッティングの仕方を習得する スキンケアの手順を習得する。 ベースメイクの種類と特長、作り方を理解する。
3	前回の復習/アイブロウ	スキンケア～ベースメイク復習。スキンケアの手順を熟練する。 ベースメイクの作り方を習得する。 アイブロウアイテムの種類と特長、描き方を理解する。
4	前回の復習/アイメイク	事前にベースメイクを作っておく。アイブロウ復習。ブラシを使ったアイシャドウの付け方、グラデーションの出し方、アイラインの引き方、ビューラーの使い方、マスカラの付け方を学ぶ。
5	前回の復習/リップ・チーク	事前にベースメイクを作っておく。アイブロウおよびアイメイク復習。アイメイクの仕方を習得する。 リップラインの描き方を理解する。 チークの付け方を学ぶ。
6	1～5回まで授業の振り返りと中間試験トレーニング	1～5回目までの総復習。時間に入ることと完成度のバランスを上げることを目指す。
7	中間試験	フルメイク(35分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(35分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。
8	フルメイク	フルメイク(35分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(35分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。
9	ゴールデンプロポーションとシェーディング	フェイスプロポーションを計測し顔のパーツの配置の違いを理解する。顔の黄金比を知り、美しいパーツ配置のバランスを理解する。ハイライトとシャドウによるベースメイクの立体感の付け方を学ぶ。
10	前回の復習/アイブロウの形を変えて描く	シェーディングを含めたベースメイク。過不足無い自然な立体感のあるシェーディングを習得する。自然に長く・短く、太く・細くするアイブロウの描き方を理解する。
11	前回の復習/アイシャドウの横グラデーション	自然に長く・短く、太く・細くするアイブロウの描き方を習得する。 縦グラデーションと横グラデーションの違いと特徴を理解する。
12	前回の復習/立体的リップとグラデーションリップ	横グラデーションのアイメイクを習得する 立体的なリップラインの描き方を理解する グラデーションを活かしたリップラインの描き方を理解する
13	前回の復習/立体的なチーク	立体的なリップラインの描き方を習得する グラデーションを活かしたリップラインの描き方を習得する 立体的なチークの入れ方を理解する
14	定期試験の練習 フルメイク	9～13周までポイント含むフルメイクを習得する 時間内(30分)でフルメイクができるスピーディに仕上げる技術を習得する 定期試験の注意事項を確認する
15	定期試験	フルメイク(30分)メイクアップの正しいマナー・セッティングを習得する。 フルメイクを時間内(30分)に仕上げることができる。 各パーツを正しく仕上げることができる。

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ Career DevelopmentⅡ	年次	1	実務経験	担当	太田亜貴子
		授業形態	講義			
		時間数	30	開講区分	前期	
学科・コース	メイクアップ科	単位	2	曜日・時間	1組(水2限)2組(水1限)	
講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティアドバイザーとして都内百貨店で10年間勤務。セクションマネージャーとして店舗運営、美容部員育成にも携わる。ベルエポックでは業界経験を活かし、トータルビューティ系の担任として学生サポート、就職指導を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになっている。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	手帳・Hand book of Life style					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ワクワクホーム	情報がたくさんある時代に必要な情報だけをを集められるようになる。
2	就職スケジュール・履歴書・面接対策	就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。
3	自己紹介の練習	自己紹介の練習を行い、他人から見た自分の姿を把握する。
4	履歴書の書き方①	就職活動における履歴書の役割や作成のポイントを学ぶ。基本項目を書いてみる。
5	履歴書の書き方②	履歴書の免許・資格の書き方を理解し、求人票の見方を学ぶ。
6	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
7	中間試験	面接対策で今後自分に何が必要かを理解する。
8	面接対策	面接対策で今後自分に何が必要かを理解する。
9	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
10	履歴書の書き方③	履歴書のその他の項目について学び、準備をする。エントリーシートとの違いを知る。
11	面接ロールプレイ	模擬面接を行い、自分の言葉でアピールできるようになる。
12	電話のかけ方	電話のかけ方を学び、印象の良い電話対応が出来るようになる。
13	面接先や説明会会場での所作	面接先や説明会会場での所作を学び、印象の良い対応が出来るようになる。
14	就職対策	春休みの就職活動について理解し、主体的に活動をするための手段を理解知る。
15	定期試験	履歴書の完成を通して、就職活動の準備を整える。

科目名 (英)	パーソナルカラー Personal Color	年次	1	実務経験	担当	堀川 彩里
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	2		曜日・時間	1組2組(木3・4限)
講師紹介	色彩活用パーソナルカラー検定講師として検定対策を行っております。「人」に使える色(似合う色・コーディネート)について、色の効果を体感して楽しみながら学べるようにお伝えします。皆さんで合格を目指しましょう。					
目的 科目概要	目的: 似合う色を身につける事で、よりよく自己を印象づける「自分ブランディング」ができるようになるポイントを学ぶ。 概要: パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の基礎、そのもとなる色彩学の基礎を習得する。自分自身の似合う色を実習の中で学んでいく。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の基礎知識およびパーソナルカラーの基礎知識の習得を目指す ・自分には客観的にどのような色が似合うかを学び、「自分ブランディング」ができるようになる事で自分に自信を持ち、自己表現の幅を広げる ・色彩活用パーソナルカラー検定3級(2022年度冬季)合格を目指す 					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書	色彩活用パーソナルカラー検定3級 公式テキスト・問題集		事前事後 学習と その内容	授業の進行に合わせて、課題の予習・復習、問題集、プリントの課題を実施する。		
教材	新配色カード199b、トーンマップ					
特記事項	はさみ、のり、筆記用具も持参してください。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション(パーソナルカラー概要) 色彩の基本①(色の三属性、トーン) トーン一覧CW①	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルカラーの意味と必要性、判断の裏付けとなるモノの大枠を学ぶ ・色彩の基本である、色の三属性(色相・明度・彩度)を理解する ・トーンの考え方と仕組みを理解する ・「色の三属性」を使って、色を表現(伝えられる)ようにする、トーン一覧CWについて理解する
2	色彩の基本②(トーンとイメージ) トーン一覧CW② パーソナルカラーの基本 パーソナルカラーの4シーズンのカラーパレット	<ul style="list-style-type: none"> ・トーンとイメージ(言葉)の関わりを学び、色の表現力を養う、トーン一覧CW完成 ・パーソナルカラーでの色の三属性の捉え方を理解する ・パーソナルカラーの4つのパレットについて、色の特徴とイメージを理解する、カラーパレット作成
3	似合う色の基準となる色素について コラージュ作成①	<ul style="list-style-type: none"> ・色素(髪・眼・肌)の特徴を知りそこから4シーズンの代表的な色素傾向を知る ・PIIについて理解する ・自分の色素を知ることで、自分に似合う色の傾向を理解する。自分色素カルテ作成 ・コラージュ作成のポイントを知る、コラージュ作成
4	中間試験 ドレーピング手法と実習 コラージュ作成②	<ul style="list-style-type: none"> ・中間試験 ・似合う色の見え方と似合わない色の見え方を知る。似合う色を”三属性の得意な要素”で答えられる。 ・ドレーピングを使って、色による顔色の変化(顔映り)を体感する。自分の色素(どんな髪、眼、肌だから)と似合う色(こんな色が似合う)のつながりをまとめることができる。 ・コラージュ作成
5	ドレーピング診断結果のまとめ、似合う色の取り入れ方 色が見える仕組み、光と色 反射と吸収	<ul style="list-style-type: none"> ・4シーズンそれぞれに似合う色、柄、素材、メタリック、メイクカラーを理解する ・ドレーピング実習および、自分に似合う色の取り入れ方を理解する ・色彩学の反射・吸収が、パーソナルカラーの顔映りにどの様に関わるのか理解する
6	パーソナルカラーと対比 コラージュ作成(完成)	<ul style="list-style-type: none"> ・色相対比、明度対比、彩度対比の違いを理解する。パーソナルカラーと対比の関わりを理解する。 ・コラージュを完成させる(終わらなかった人は宿題とし、最終授業で提出)
7	検定対策 定期試験	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだ内容について、検定出題傾向に基づき要点を復習する ・過去問題を例に、出題形式や出題傾向に慣れる ・定期試験の実施 ・コラージュ提出

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ Hair&MakeupⅡ	年次	2	実務経験	担当	足立 裕季
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	1組2組(火3・4限)
講師紹介	雑誌、広告媒体の仕事を多くこなす現役ヘアメイクアップアーティストによる現場実践型の授業を行います。					
目的 科目概要	メイクを施術するにあたり、ヘアも合わせて提案できるとお客様の信頼を得られる他、様々なジャンルの美容の仕事でトータルでコーディネート出来るようになる。					
到達目標	ヘアの基本技術を習得し、ベーシックカジュアルスタイルが作れるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	なし	事前事後 学習と その内容	授業時は必ずメモをとり、必ず復習をすること。			
教材	ヘア道具一式					
特記事項	授業時はエプロンを着用のこと					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ストレートアイロン	ストレートアイロンのプロセスを覚える
2	コテ巻き	内巻き、外巻き、ミックス巻きを覚える
3	ピンング	基本の5点どめのプロセス、強度のある仕上がりを目指す
4	ツイストハーフ、ツイスト	ツイスト練習を行い、ハーフスタイスが作れるようになる
5	ゴム一束	基本のゴム結びを覚えて、ポニーテールのアレンジを覚える。
6	ルーズアップ	アイモデルにてルーズのアップを作れるようになる
7	定期試験ルーズアップ25分	定期試験練習後、定期試験
8	編み込み	裏編み、表編み、カチューシャの編み方を覚える
9	編み込みアップ	編み込みのアップスタイルを作る
10	あみおろし	編み込み夜ツイストを使い編みおろしスタイルを作ることができる
11	お団子スタイル	プロセスを学びお団子スタイルを作る
12	逆毛	逆毛の基本技術を学ぶ
13	ローポニー	ローポニーの基本構成を覚え美しく仕上げる
14	ローポニー	定期試験に向けローポニーの仕上がりを強化する
15	定期試験ローポニー30分	定期試験練習後、定期試験

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅱ Make up Ⅱ	年次	1	実務経験	担当	大和田一樹
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	1組(月1・2限)2組(月3・4限)
講師紹介	メイクアップアーティストとしてスチール、ショーのメイクアップ、またメイクアップディレクターとして化粧品の開発・プロデュース・メイクセミナーの講師、自らTV出演など化粧品とメイクアップに関する様々な業務を歴任してきました。ここではメイクアップに必要な専門的な理論と技術を習得する授業を行います。					
目的 科目概要	目的:メイクアップデザインに関する専門的な理論と技術を学び、メイクアップイメージを作り上げる。 科目概要:形・色彩・質感が持つイメージを学び、それを組み合わせることでメイクアップイメージを表現できることを理解する。					
到達目標	形・色・質感を変化させ組み合わせることでメイクアップイメージを作り上げることができる。 限られた時間内で様々なメイクアップを仕上げるすることができる。 様々なメイクアップ表現に必要な専門的な技術を習得することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	メイクアップは細かいプロセスが多いので、毎回必ずノートを取って欲しいです。授業で使用したスポンジ・パフなどは毎回必ず洗浄しておいて下さい。		
教材	学校指定のメイク教材					
特記事項	7回目と14回目の授業時に課題の提出をしていただきます。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	フルメイク	フルメイクをしてみて今の段階での得意・不得意を知ることができる。
2	直線メイク	メイクアップで各パーツの直線的なラインの描き方を習得する。
3	曲線メイク	メイクアップで各パーツの曲線的なラインの描き方を習得する。
4	上昇メイク	メイクアップで各パーツの上昇的なラインの描き方を習得する。
5	下降メイク	メイクアップで各パーツの下降的なラインの描き方を習得する。
6	中間試験演習 フルメイク	フルメイクを時間内に仕上げるができる。 各パーツを正しく仕上げるができる。 中間試験の注意点を確認する。
7	中間試験 フルメイク	フルメイクを時間内に仕上げるができる。 各パーツを正しく仕上げるができる。【配点20点】
8	フルメイク	1～7週までの振り返り。フルメイクを時間内(40分)に仕上げるができる。 各パーツを正しく仕上げるができる。 テーマに沿ったフルメイクがバランス良く仕上げることができる。
9	質感別メイク ツヤとマット	メイクアップにおける質感ツヤとマットに見せるテクニックを習得する。 メイクのイメージの違いに合わせて質感を選択することができる。
10	イメージメイク①「キュート」	形・色・質感の組み合わせでメイクアップをキュートに作り上げることができる。
11	イメージメイク②「クール」	形・色・質感の組み合わせでメイクアップをクールに作り上げることができる。
12	イメージメイク③「エレガント」	形・色・質感の組み合わせでメイクアップをエレガントに作り上げることができる。
13	撮影実習のためのデザインシート作成	ヘア・メイク・衣装・小物などトータルで創作し、デザインシートに起こすことができる。
14	定期試験の練習 撮影実習のための作品制作	スチール撮影のためのフルメイクを習得する。 時間内にフルメイクができるスピーディに仕上げる技術を習得する。 定期試験の注意事項を確認する。
15	定期試験	撮影のためのフルメイクができる 時間内でフルメイクができる【配点50点】

科目名 (英)	ヨガ yoga	年次	1	実務経験	担当	手塚 沙也花
		授業形態	演習			
		時間数	15	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	1		曜日・時間	1組(月3限)2組(月2限)
講師紹介	大手スポーツクラブやヨガスタジオにて、パーソナルトレーニングやヨガを教えています。ヨガでは、内面と外見も美しく、調整することができます。選択科目と分野は異なりますが、美容や健康面でも必ずプラスになります。今後の役にたつよう、ヨガを楽しみながら行いましょう。					
目的 科目概要	ヨガでは、心と体のリフレッシュが出来ます。ヨガの呼吸法で集中力を高めたり、その時々のお気持ちの調整など、セルフコントロールが出来るようになります。また、基礎体力の向上、美しい姿勢やたちふるまいを習得する為に、実技をメインに行っていきます。					
到達目標	本職を活かしていくための、たちふるまいや良い姿勢を身に付ける。 自分の体や内面を知り、心身ともにセルフコントロールする力を身に付ける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	無		事前事後 学習と その内容	ヨガの動きや、柔軟性は人それぞれ異なります。人と比べずに、純粋にヨガを楽しみましょう。		
教材	資料配布					
特記事項	毎講義に実技を行う為、開脚が出来るような動きやすい服装を準備する。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ヨガ体験、今後の講義の説明	実際のヨガレッスンを体験し、心身の体の変化を感じる。次回からの講義を受ける際のポイントを理解する。
2	ヨガとは？／パワナムクターサナ	ヨガの歴史や、効果を学ぶ。
3	呼吸法(プラナーヤーマ)／前屈のポーズ	ヨガの呼吸法を何種類か体験する。
4	ヨガの八支則／後屈のポーズ	八つの部門からなるヨガの八支則を学ぶ。
5	背骨・骨盤の動き／捻りのポーズ	背骨と骨盤の仕組みや、役割を学ぶ。
6	アライメントについて、今までの授業の振り返り	正しい姿勢を理解し、自分の体を知る。今までの授業内容が理解しているか確認する。
7	中間試験	今まで講義の内容を理解できているか確認する。
8	自律神経について／体側を伸ばすポーズ	自律神経を理解し、日常生活ではどのように活かせるか考える。
9	アクティブなヨガ／太陽礼拝	アクティブなヨガ(パワーヨガ)の効果を知り、体験する。
10	リラクスのヨガ、アロマ	リラクスのヨガの効果を知り、体験する。アロマの効果を知る。
11	マインドフルネス(瞑想)	マインドフルネスを学び、日常生活に活かせるか考える。
12	チャクラとは？	チャクラを知り、ヨガで体感する。
13	ヨガとトレーニング、食事について	ヨガとトレーニングのメリット。健康的にボディメイクする方法を知る。
14	陰と陽について	陰と陽について知る。定期試験に向けての復習。
15	定期試験	全講義を受講し、ヨガについて理解できたか確認する。今後どのように繋げるか考える。

科目名 (英)	ブランド研究 I	年次	1	実務経験	担当	イサムちゃん
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科1年	単位	4		曜日・時間	1組2組(火1・2限)
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドでショップ店員また2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やCMに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	目的:ブランドの歴史や時代背景を知る事が基礎知識になります。					
到達目標	ファッションブランドを知る事によって様々なクライアントのニーズとウォンツを知りそれに似合ったサービスを提供できるようになる。					
評価方法	<p>学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることが</p> <p>■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品</p>					
教科書				事前事後 学習と その内容		
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ブランドとファッション	ファッションブランドとブランドの違いを学ぶ。
2	シルエットとライン	シルエットとランチを知りそれに合ったファッションブランドまたブランドを学ぶ
3	アイテム名①	アイテム名を知りそのシルエットからイメージを知り学ぶ
4	アイテム名②	アイテム名を知りそのシルエットからイメージを知り学ぶ
5	トレンド&リサーチ①	トレンドをどうリサーチをするかを知り学ぶ。
6	トレンド&リサーチ②	オンラインだけでなくオフラインでどうリサーチをするかを知り学ぶ。
7	テスト	テスト
8	ファッションヒストリー①	年代別ファッションとブランドを知って学ぶ。
9	ファッションヒストリー②	年代別ファッションとブランドを知って学ぶ
10	映像とドラマ①	映像のキャラクターがどのようなファッションの影響があるかを知り学ぶ。
11	映画とドラマ②	映像からのトレンドとベーシックのベースを知って学ぶ。
12	映画とドラマ③	映像から時代背景を元に流行を分析する
13	映画まとめ	映画から受けたイメージをビジュアルに起こす
14	今までの復習	今までの復習とテストに向けて。
15	テスト	テスト

科目名 (英)	グローバルサービス Global Services	年次	1	実務経験	担当	ノヴァ
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	開講区分	後期	
		単位	2		曜日・時間	1組2組(金2限)
講師紹介	語学教育の経験があり、様々な学校の学生様から企業様まで幅広い世代に語学を教えております。生徒の皆さんが語学や文化に興味を持ってくれるような授業を展開していきます。					
目的 科目概要	英語: 海外モデルとのコミュニケーションをとる事ができ、メイクスキルに必要な英語での表現を習得する 韓国語: 言語を通して異文化理解に努め、韓国語で挨拶や身の回りの言葉を話せるようになる					
到達目標	言語を通して異文化について興味関心を持ち、今後のキャリアへとつなげる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	English for Beauticians	事前事後 学習と その内容	自宅で予習・復習を行うこと。			
教材						
特記事項	教科書、ノート、筆記用具を持参し、配布されたプリントはファイルに取っておくこと。先生が板書した内容を丁寧にノートに取ること。積極的に授業に参加してください。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	Unit 1 挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
2	Unit 2 電話対応	電話予約の表現を学ぶ 電話で予約を承ることが出来るようになる
3	Unit 3 飛び込み客	飛び込み客への対応の表現を学ぶ 飛び込み客の対応が出来るようになる
4	Unit 4 お客様への質問	丁寧な質問の仕方を学ぶ お客様に失礼のない質問が出来るようになる
5	Unit 5 道案内	道案内の表現を学ぶ サロンまでの道案内が出来るようになる
6	Unit 6 会計	会計の表現を学ぶ 会計をすることが出来るようになる
7	中間試験	中間試験
8	【韓国語】 ハングルを理解しよう	ハングルを使って自分の名前を書けるようになる 身の回りのハングルを読めるようになる
9	【韓国語】 挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
10	【韓国語】 日常会話で使えるフレーズ	普段使える簡単なフレーズを学ぶ 簡単な意思疎通をとれるようになる
11	【韓国語】 流行しているヘアメイク	韓国コスメや流行のヘアメイクについて学ぶ
12	【韓国語】 コミュニケーションをとろう	学んだフレーズを使ってコミュニケーションを取る 韓国人のお客様と簡単な会話ができる
13	Unit 8 施術中	会話を続ける方法を学ぶ お客様と雑談出来るようになる
14	復習	定期テストに向けて復習を行う
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	スキンケアカウンセリング I Skin Care Counseling I	年次	1	実務経験	担当	コスメティックアクターアカデミー
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	木曜日 1・2限
講師紹介	ヘアメイク事務所に所属しコレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	目的:ビューティーアドバイザーに必要なスキンケア・マッサージを習得する。スキンケアのブランド特徴・化粧品分析を理解する。科目概要:ブランドごとのアイテム特徴・化粧品分析を理解する、スキンケアカウンセリング・マッサージができる。					
到達目標	スキンケアの特徴・化粧品分析を理解しスキンケアカウンセリングとマッサージができるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA公式テキスト ブロンズ・シルバー		事前事後 学習と その内容	授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。		
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	フルメイク技術チェック	今までのメイクアップの個々の技術レベルをチェックする。
2	スキンケア分析①	化粧品学①色々なブランドのスキンケアを分析する。化粧水・乳液以外の特徴と効果を理解
3	スキンケア分析②	化粧品学②導入美容液・マスク・パックなどを体感し理解する。
4	肌カウンセリング①	肌タイプに合わせたカウンセリングとスキンケアアドバイスをを行う。
5	肌カウンセリング②	肌タイプに合わせたカウンセリングとスキンケアアドバイスを習得する。
6	中間試験対策	中間試験対策:スキンケアカウンセリング対策
7	中間試験	中間試験:スキンケアカウンセリング
8	リンパマッサージ①	リンパを流すことによりむくみを取る流れを理解し実習する。
9	リンパマッサージ②	リンパを流すことによりむくみを取る流れを理解し習得する。
10	小顔矯正①	小顔造顔マッサージを理解し実習する。
11	小顔矯正②	小顔造顔マッサージを理解し習得する。
12	カウンセリング～フルメイク①	お客様の肌カウンセリングから導き出したスキンケアとメイクアップを実習する。
13	カウンセリング～フルメイク①	お客様の肌カウンセリングから導き出したスキンケアとメイクアップを習得する。
14	期末試験対策	期末試験対策:カウンセリングメイク(30分)
15	期末試験	期末試験:カウンセリングメイク(30分)

科目名 (英)	トレンドメイク I Trend Make Up I	年次	1	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	水曜日 3・4限
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ資格を取得する。最新のトレンドメイクを学び習得する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のブロンズ資格を取得する。最新のトレンドメイクを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト		事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にメイクセッティングをして下さい。授業後は全員で消毒と清掃を行います。ブラシ・パフは毎回洗浄して下さい。		
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向を理解しブランド分析する。デザインシート書き方
2	化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ハイブランドブランドメイク(セルフ)
3	化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ①
4	接客販売1&トレンドメイクタッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ②
5	接客販売2&トレンドメイクタッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クロージングなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ③
6	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 実技:タッチアップ 色相グラデーション
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
8	化粧品学(応用)1&トレンドカラー① スプリング	薬事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分などを習得①トレンドカラー スプリングの特徴を理解しメイクで習得する。
9	化粧品学(応用)2&トレンドカラー② サマー	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなどを習得②トレンドカラー サマーの特徴を理解しメイクで習得する。
10	皮膚科学1&トレンドカラー③ オータム	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌などを習得③トレンドカラー オータムの特徴を理解しメイクで習得する。
11	皮膚科学2&トレンドカラー④ ウィンター	スキントypes・肌のトラブルなどを習得④トレンドカラー ウィンターの特徴を理解しメイクで習得する。
12	スキンケアカウンセリング1&ヒューマンカラー	スキンケアカウンセリング手順など習得。色相:ベースカラー・明度:ライト・ディープ・彩度:ビビット・ソフト を理解し診断する。
13	スキンケアカウンセリング2&パーソナルカラー	シルバー過去問題。カウンセリングでベストカラーを導き出し、パーソナルカラーでフルメイクをする。
14	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験・4シーズントレンドメイク
15	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験・4シーズントレンドメイク対策

科目名 (英)	トータルビューティ(エステ) total beauty	年次	2	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	水曜 3・4限
講師紹介	エステティシャンとして、約20年間、フェイシャルケア、ボディケア等様々な美容サービスを提供してきました。また美容専門学校においては現場経験を踏まえながら心身を癒し、美肌作りやボディラインを整える為のノウハウをお伝えしています。この授業では美容家として社会で活躍する際に、それぞれの職業で役立つ知識、技術、またご自身の身体に行えるセルフケアの方法をお伝え					
目的 科目概要	お客様を癒し、美しく健康を維持する為に必要な基礎知識、技術及びそれに伴う接客マナーを習得する。エステティックサロンで人気の高いフェイシャル、ボディメニューやアロマセラピーについて、理解し、実践する。					
到達目標	美容業界でお客様へサービスを提供する際に役立つエステティックの知識と技術を習得する。自分自身をケアする為の方法を学ぶ。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	無し・授業毎にマニュアルを配布。			事前事後 学習と その内容	シラバスを参考に、毎回の授業概要と到達目標を理解して授業に参加すること。	
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業においてメモをとる事					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション/フットマッサージ	この授業の概要を理解する。 むくみの原因と対策について学ぶ。フットマッサージの実践。
2	G5	エステティックにおけるボディ機器の種類や効果を学ぶ。G5の実践。
3	リフレクソロジー	リフレクソロジーの基礎知識を学ぶ。リフレクソロジーの実践。
4	吸引ケア	エステティックにおけるデープクレンジングの種類や効果を学ぶ。吸引機器を使用したフェイシャルケアの実践。
5	リンパフェイシャル	リンパ系のメカニズムについて学ぶ。リンパフェイシャルケアの実践。
6	パター	エステティックにおけるフェイシャル機器の種類や効果を学ぶ。トリートメント機器を使用したフェイシャルケアの実践。
7	中間試験	6回までの講義の理解度を確認する。【実技試験】
8	スペシャルフェイシャルケア	エステティックにおけるフェイシャルマスクの理論と実践。リンパフェイシャルケアの復習。
9	アロマセラピー①	アロマセラピーの基礎知識を学ぶ。精油各論①沐浴の実践。
10	腰背部のマッサージ	肩こりの原因と対策について学ぶ。腰背部のマッサージの実践。
11	アロマセラピー②	アロマセラピーのメカニズムについて学ぶ。精油各論②アロマバスソルトの作成。
12	アロマセラピー③	精油の安全性について学ぶ。精油各論③ハンドマッサージの実践。
13	アロマセラピー④	アロマセラピートリートメントについて学ぶ。精油各論④フットマッサージの実践。
14	アロマセラピー⑤	アロマトリートメントと健康について学ぶ。精油各論⑤アロマサシェの作成。
15	期末試験	8～14回までの講義の理解度を確認する。

科目名 (英)	トータルビューティー(ネイル) Total beauty Technology	年次	2	実務経験	担当	阿部 恵理子
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	木曜日1・2限
講師紹介	ネイリストとして現役でサロンワークをしながら、長年美容学校で講師としても活動。検定試験の内容からサロンで流行している最新のデザインまでレクチャーします。					
目的 科目概要	日々新しい技術やアートが生まれていく業界で、今流行しているアートだけではなく、定番のアートや技術が必要になる難しいアートなどいろんな技術を学び、どんなデザインでもできるような力を身につける。					
到達目標	様々なアート技術を学び、ネイルテクニックとデザイン力をつける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input checked="" type="checkbox"/> 作品					
教科書	テクニカルシステムベーシック	事前事後 学習と その内容	毎回違う技術を習うので、習った技術を忘れないようにメモをとったり自宅で復習をして覚えること。			
教材	ネイル道具一式、筆記用具					
特記事項	自分の爪で練習するので、毎回自爪で受講すること、ジェルネイルがついている場合は、受講前に必ずジェルオフすること。					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルネイル基本①	教材チェック、ジェルのテーブルセッティング、プリパレーション、1カラー、ジェルオフ
2	グラデーション	ラメグラデーション、カラーグラデーション
3	フレンチネイル	フレンチ、逆フレンチ、斜めフレンチ、ストレートフレンチ、2色シボレー
4	マーブル	ピーコック、ハート、マーブル模様、タイダイ模様
5	フラワー	5枚花、薔薇、マーブル花
6	ストライプ、チェック	ストライプ柄、チェック柄
7	中間試験	規定の時間内に指定のネイルアートを完成させる
8	アニマル柄	ゼブラ柄、ダルメシアン柄、ヒョウ柄
9	ハロウィン	かぼちゃやお化け、蜘蛛の巣などのジェルアート
10	クリスマス	サンタクロース、トナカイなどのジェルアート
11	和柄	市松模様、鹿の子模様、麻の葉模様をジェルで描く
12	細い線のトレーニング	雪の結晶やレースなどの細い線を描けるように練習する
13	バレンタイン	チョコレートやハートのジェルアート
14	ニュアンスネイル	曖昧な色合いでアンニュイなデザインを、ジェルでアートする
15	定期試験	決められたテーマを規定の時間内にデザインして5本1セットの作品をつくる

科目名 (英)	パーソナルスタイリング Personal styling	年次	2	実務経験	担当	矢澤 勇
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60		開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	水曜 3・4限
講師紹介	スタイリストとして複数のブランド撮影に参加。またコレクションも多く手掛ける					
目的 科目概要	ファッション業界の仕組みをしり、販売からスタイリングまで幅広く習得する					
到達目標	美容業界でお客様へサービスを提供する際に役立つエステティックの知識と技術を習得する。自分自身をケアする為の方法を学ぶ。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	無し・授業毎にマニュアルを配布。			事前事後 学習と その内容		
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業においてメモをとる事					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	この授業の概要を理解する。 ファッション業界について学ぶ。
2	ブランド研究①	アパレルブランドとマーケットを学ぶ
3	ブランド研究②	アパレルブランドとマーケットを学ぶ
4	店頭シュミレーション①	お客様への対応を学ぶ
5	店頭シュミレーション②	お客様へのスタイリングを学ぶ
6	店頭シュミレーション③	お客様のパーソナルを含めた提案をする
7	中間試験	6回までの講義の理解度を確認する。【実技試験】
8	スタイリング①	テーマに合わせたスタイリングを学ぶ
9	スタイリング②	テーマに合わせたスタイリングを学ぶ
10	スタイリング③	テーマに合わせたスタイリングを学ぶ
11	プロップスタイリング①	小物の使い方、演出を学ぶ
12	プロップスタイリング②	小物の使い方、演出を学ぶ
13	VMD① ビジュアルマーチャンダイジング	店舗の空間作りを学ぶ
14	VMD② ビジュアルマーチャンダイジング	店舗に個性のある演出をする
15	期末試験	8～14回までの講義の理解度を確認する。

科目名 (英)	ファッション総合Ⅱ fashionⅡ	年次	2	実務経験	担当	矢澤 勇
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・コース	メイクアップ科	単位	4	開講区分	後期	
				曜日・時間	木曜 1・2限	
講師紹介	スタイリストとして複数のブランド撮影に参加。またコレクションも多く手掛ける					
目的 科目概要	TOPSS取得を目指し、ファッションを幅広く学び、理解する事ができる					
到達目標	デザインから着こなしまで学び、即戦力として店頭に立つことができる販売員になる ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	無し・授業毎にマニュアルを配布。			事前事後 学習と その内容		
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業においてメモをとる事					

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション	この授業の概要を理解する。 自己紹介
2	デザイン研究①	60年代からのファッションを学ぶ
3	デザイン研究②	70年代からのファッションを学ぶ
4	デザイン研究③	80年代からのファッションを学ぶ
5	パターン研究①	パターンを学ぶ
6	パターン研究②	パタンナーの仕事について
7	中間試験	6回までの講義の理解度を確認する。【実技試験】
8	テキスタイル①	布や素材を学ぶ
9	テキスタイル②	素材の組み合わせを学ぶ
10	デザイン研究④	90年代からのファッションを学ぶ
11	デザイン研究⑤	00年代からのファッションを学ぶ
12	デザイン研究⑥	10年代からのファッションを学ぶ
13	流行研究①	今のニーズを把握し、流行を察知する
14	流行研究②	自分の個性を活かしたブランディング
15	期末試験	8～14回までの講義の理解度を確認する。